発言順位	11 番

一般質問発言通告書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

平成27年2月19日

三島市議会議長　土　屋　俊　博　様

三島市議会議員　14 番　　堀　江　和　雄

質問事項１	公会計改革への取り組みとファシリテイとの連動について

具体的内容

公会計改革の目的は、説明責任の遂行、効果的・効率的な行政運営の展開、資産・債務改革への貢献、予算編成への活用など、これまでの仕組みを変えていくことで、多くの課題を同じ土台の上で議論していくことができる。固定資産台帳を整備することで、将来の施設更新必要額の推計や施設別のコスト分析といった公共施設等のマネジメントも可能になります。また、お金の流れが明確になり、部・課単位または、事業別のお金の流れすなわち、効果的に使われているのか、コストはどうなのかが、明確になり、予算編成時に大いに役に立つ内容が瞬時に把握できると考えます。前回質問した時と比較して、公会計制度導入への支援内容が明らかとなり、懸案の財政負担・ソフトウエアに係る費用・固定資産台帳整備への財政支援など三島市にとってもかつてない取り組みの時期と考えますが、これらの取り組みについて質問します。

１　三島市における公会計制度について

①公会計制度導入について

②固定資産台帳整備について

③地方公会計の整備に係る支援について

④これまでの三島市の運営から、資産形成ができることによる市の経営へと転換できるかどうか。

⑤職員への研修について

２　公共施設白書ができました。公共施設マネジメントの概要もできました。

若手のスペシャリストも育ってきました。そこで、ファシリティマネジメントとの連動について伺います。

①アドバイザーの人選について。

②白書・概要ができ、これから具体的に着手することは。

③固定資産台帳が整備されることにより、部別、課別、又は事業別、施設別の財務諸表が作成できることになる。施設の老朽化比率も明らかになると考えるがどうか。

また、減価償却費、残存価格など、施設ごとの数値が明らかとなり、これがファシリテイと連動していくことが可能であると思うがどうか。